

問題（一）次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

他者の生活史の理解を通じて、他者がいかなる中核的感情欲求をどのように満たされたか、満たされていないか、を把握していくプロセスは、「Ⅰ」に気づくことであり、それを通じて「Ⅱ」を捉え直すことでもあります。

「他者の他者性」とは「他者には、自分には理解し得ない他者性がある」ということです。これは、生きる **aクノウ** を抱えた急性期の精神障害者に、薬物投与一辺倒ではなく対話を繰り返すことにより、遥かにより「治療効果」をもたらしているオープンダイアログというアプローチで主張されている考え方です。（セイックラ&アーンキル『開かれた対話と未来』医学書院）。

私はこのオープンダイアログの集中研修を二〇一七年に受け、文字通り世界観が変わりはじめました。「他者の他者性」という考え方を知ることにより、「意見をまとめなければならぬ」という私自身の強迫観念から自由になることができたのです。それは一体どういうことでしょうか？

私は娘や妻のことを完全に理解することはできません。（A）、私は妻や娘になれないし、娘や妻には私に「Ⅲ」があるからです。ということは、私が妻や娘と対話をして、**b完璧**に理解し合えるわけではありません。妻と結婚して二〇年が経ち、割と毎日のように会話をしていますが、（B）「そうだったの？知らなかった！」と思う出来事に未だに出会います。（C）、自分には想像も理解もし得ない他者性が、他者には含まれているのです。

ということとは、他者と意見を完璧に一致させることは、原理的に無理なことだと言えます。（D）、「意見をまとめる」というのは、一方が他者を説得し、相手に**ア服従**するあるいは **i鵜呑み** にする中で、「まあええか」「もうしゃあないか」という妥協の産物として導かれる可能性も少なくありません。それは、時には暴力的になります。「長いものには巻かれる」とか「言っても仕方ない」という **c諦め** がベースになる場合だってあります。

では、物事を決める時にどうすればよいのか？私がオープンダイアログの提唱者の一人、トム・アーンキルさんから直接学んだのは、「違いを知る対話」と「決定のための対話」を分けるやり方です。彼が勤めていた研究所で **dホウシン** 決定などをする際、午前中はそのテーマについてのお互いの思いを **iiざつくばらん** に話し合う「違いを知る対話」に時間をかける、といいます。それをお互いが理解した上で、「ではどうしたらよいか？」という「決定のための対話」は、お昼ご飯を挟んで午後に行うと、上手く決まりやすいと言います。なぜこのような、遠回りに見えるプロセスを踏むのでしょうか。

学級会であれ会社の会議であれ、話が揉めるのは、価値観が対立した際です。一つのテーマに関して、お互いが違う意見や見解を持つていて、双方の正しさに一定の理があるかなかまとまらないとき、話が揉めるのです。それを司会者や***ファシリテーター**が力づくで一つにまとめようとすると、違う見解を持つている人は反発したり、黙り込んだりします。なぜなら、自分の意見が聞かれていない、尊重されていないと思うからです。

でも、その前に、お互いの価値 **イ前提** を聞き合う時間があれば、話は違ってきます。なぜあの人は私と **ウ反対** の意見を持つているのか。そこには必ず理由や **eハイゲイ** があります。

「そんなのあり得ない！」と思う意見であつても、なぜそう考えるのか、という他者の合理性（Ⅱ出来事と選択と理由の、連鎖と蓄積）をしつかり聞いているうちに、自分が相手のfキョウグウに置かれたら、そう考えるかもしれないな、と理解ができてくるのです。

この他者の他者性に気づいた（「違いを知る対話」をした）後で、「ではどうするか？」という「決定のための対話」を行うと、①**決定の質が異なっています**。自分が正しいと信じる価値観の押しつけではなく、相手の価値観も受け入れた上で、でもこうも言えませんか？と提案することになります。相手の側も、自分の価値前提をちゃんと聞いて理解してもらった上で、異なる提案をされると、すんなり受け入れやすくなったりするのです。

これが、共に思い合う関係性のg基盤にあると私は考えます。

他者には自分に知り得ない他者性があることに気づくプロセスは、自分自身にも、その他者とは違う圧倒的な固有性があることに気づくプロセスでもあります。Aそれは、「己の唯一無二性」と出会い直すことでもあります。これは他者とケア関係を結ぶときに、ギフトとしてもたらされるものかもしれません。

娘をケアしはじめた時、思い通りにならず、圧倒的に時間と手間がかかる娘の前に、あたふたオロオロ、そして時にはイライラしていました。でも、そんな娘に関わるうちに、娘を通じて自分自身を見つめ直す瞬間が沢山訪れます。それは、私自身の中核的感情欲求のどの部分が満たされていないか、と向き合うことであり、どのような部分に非寛容なのかを知ることでもありました。ある種の自分自身の「影」との出会いでもあります。

でも、見たくない自分自身の影をなかったことにする、あるいは他人にh投影してバッシングしても、その影の亡霊に襲われるばかりです。強みもあれば弱みもある。得意と不得意はセットです。その際、弱みや不得意をなかったことにするのは、自分自身の実像の半分しか認めていないことになります。

「己の唯一無二性」と出会う（出会い直す）とは、至らなさや愚かさ、醜さも含めた、見たくない影をも、そのものとして認めることを指します。Bそれは、結構キツイプロセスです。娘の言動にカッとなって怒っている時に、「お父さん、怒ってる？」と聞かれると、まさに「影に直接問われている」ような気分になります。私はなかなか変わることができない人間なので、「怒ってへんで！」と並仮頂面で応えたりしてしまします。

娘をケアする中で、②**自分自身の影と出会い、その影を否定せずに認めることは、実は娘の他者性をそのものとして認めるという意味で、相互承認のプロセスでもあるのです**。娘にイライラする時は、私の中で許せない*スキーマや価値観と出会っている時でもあります。それは、彼女にイライラしているようで、自分のiキョウウしない影をそのものとして突きつけられていることでもあります。一方で、なぜ彼女が私をイライラさせる行為に出たのか、という他者の他者性を理解するプロセスの中で、彼女がそうせざるを得ない出来事と選択と理由の、連鎖と蓄積（Ⅱ他者の合理性）が理解できてきます。すると、彼女を許せるだけでなく、彼女にイライラした自分の内的合理性も理解でき、それをも許せるようになってくるのです。そんな父の様子を見ると、娘の不安定さもどんどんj鎖まっています。

*ファシリテーター……物事を容易にできるようにする人や物、また世話人。

*スキーマ……データベースの仕様。

問一 文中の傍線部 a ㄱ j の漢字は読み方を答え、カタカナは漢字に直しなさい。

問二 文中の波線部 ア ㄴ ウ の語句の反対語を漢字で答えなさい。

問三 (A) ㄷ (D) に入る語句を次から選んで、記号で答えなさい。

ア つまり イ それでも ウ だから エ なぜなら オ しかし

問四 二重傍線部 i 「鵜呑み」 ii 「ぎつくばらん」 iii 「仏頂面」の、それぞれ語句の意味を答えなさい。

問五 【Ⅰ】【Ⅱ】【Ⅲ】に当てはまる語句を、本文中より抜き出して答えなさい。【Ⅰ】は六文字、【Ⅱ】は七文字、【Ⅲ】は九文字で抜き出しなさい。

問六 傍線部 A ・ B の「それ」が示す内容を、それぞれ答えなさい。

問七 傍線部①「決定の質が異なってきます。」とあるが、なぜ決定の質が異ってくるのか、簡潔に答えなさい。

問八 傍線部②「自分自身の影と出会い、その影を否定せずに認めること」とは、どうすることか簡潔に答えなさい。

問題 (二) 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

「他人や周囲に迷惑をかけてはならない」

「当たり前じゃん」とあなたは思うかもしれませんが、でも、「迷惑をかけてはならない」と必死になっている学生たちを見ていると、法律に書かれているわけでもないのに、日本国憲法よりも遥かに気にして生きているのではないか、と思い始めました。「迷惑をかけてはならない」というルールは、看板や標識に書かれているわけでもないし、いかなる法律やルールにも規定されていないはずなのに、多くの日本人にとって生きる前提になっている。その意味では、「迷惑をかけるな憲法」ではないか、と私は感じました。そして、その目で周囲を見渡してみると、日本国憲法の内容はすっかり忘れている学生たちであっても、「迷惑をかけてはならない」というのは、自分自身の行動規範としてすっかり身につき、日々気にして生きているようなのです。

この「迷惑をかけるな憲法」をしつかり護っているのは、いわゆる「いい子」と言われる学生たちです。先生や親の言うことをしつかり聞いて守り、大人の期待に応えようと必死になる彼女や彼ら。そういう学生と接していると、表面的にはこちらは授業やゼミはしやすいので、楽です。でも、「じゃあこれについてどう思うの？」と意見を聞いてみると、「わ

かりません」と黙り込んだり、あるいは私の顔色をうかがって、教員が求める答えを探っている学生もいます。

なんだか変です。これは一体どういうことなのでしょう？

「他人や周囲に迷惑をかけてはいけない」と考える「いい子」って、実は「世間や他人にとって都合の良い子」なのではないか。これが、私が持っている仮説です。

『ケアしてケアされ、生きていく』 竹端 寛 著 〈ちくまブリマー新書〉

問 二重傍線部「迷惑をかけるな憲法」について、あなたはどのように考えますか。

三六〇字以上四〇〇字以内で述べなさい。

問題(三) 次の、① ⑤ の() に共通して当てはまる漢字を、下記の ア 〰
オの中から選び、記号で答えなさい。

- | | |
|------------------------|-----|
| ① () 関心・() 責任・() 秩序 | ア 不 |
| ② 先入()・無常()・人生() | イ 未 |
| ③ 根本()・魅力()・抽象() | ウ 無 |
| ④ () 確認・() 知数・() 開地 | エ 的 |
| ⑤ () 都合・() 機嫌・() 起訴 | オ 観 |

問題(四) 次の、① ⑤ に当てはまる作家を、次のア 〰オの中から選び、記号で答えなさい。

- ① 新感覚派の代表的作家。新感覚による表現の革新を目指す。ノーベル文学賞を受賞している。代表作に『伊豆の踊子』『雪国』などがある。
- ② 新思潮派の代表的作家。理論的な視点で描いた短編小説が多い。代表作に『羅生門』『鼻』などがある。
- ③ 白樺派の代表的作家。自然主義に対抗して、個人とその自由を尊重。代表作に『城崎にて』『暗夜行路』などがある。
- ④ 無頼派の代表的作家。混沌する社会の中で、人間の本質を追求した。代表作に『人間失格』『斜陽』などがある。
- ⑤ 童話作家で詩人、農業指導と研究をしながら作家活動続けた。代表作に『銀河鉄道の夜』『春と修羅』などがある。

ア 宮沢賢治 イ 志賀直哉 ウ 川端康成 エ 芥川龍之介 オ 太宰治

問題(五) 次の、① ⑤ の() にあてはまる適当な語を、下記の ア 〰オから選び、慣用句を完成させなさい。

- | | |
|-------------------------------|-------|
| ① () の納め時【悪事をしてきたつぐないをする時期。】 | ア 骨身 |
| ② () を使う【矛盾したことを平気で言う。】 | イ 閑古鳥 |

③ () が鳴く 【人の出入りがなくさびれたさま。】
④ () を削る 【非常に苦勞するさま。】
⑤ () を決す 【争つて勝敗をきめる。】

ウ 年貢
エ 雌雄
オ 二枚舌